

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-140616

(43)公開日 平成9年(1997)6月3日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 K 7/02			A 4 7 K 7/02	Z
D 0 5 C 17/02			D 0 5 C 17/02	

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平7-304015

(22)出願日 平成7年(1995)11月22日

(71)出願人 391057052

株式会社サンバック

大阪府大阪市淀川区西中島5丁目8番3号

(72)発明者 西村 達夫

大阪市淀川区西中島5丁目8番3号 株式

会社サンバック内

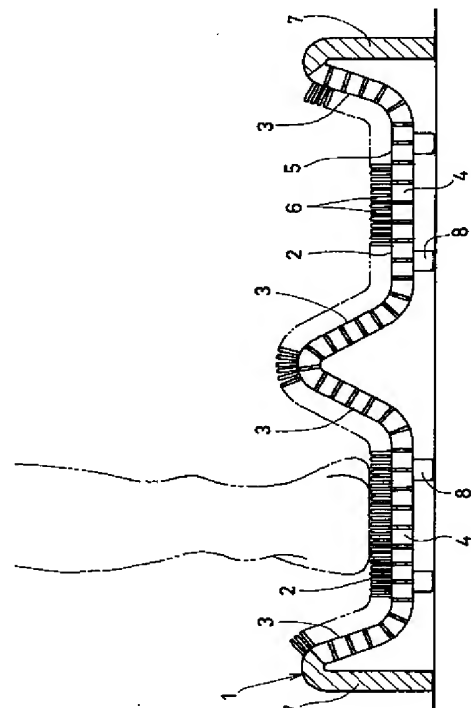
(74)代理人 弁理士 鎌田 文二 (外2名)

(54)【発明の名称】 足洗いマット

(57)【要約】

【課題】 足の裏や側面を楽に洗える足洗いマットを提供する。

【解決手段】 床に載置される基体1の上面に、並列する一対の平坦面2と、各平坦面2の両側から立ち上がる立上面3とを形成する。各平坦面2及び立上面3に弾力性を有する多数の毛6を植設すると共に、基体1に、上下方向に貫通する多数の貫通孔4を設ける。足を洗う際、泡状の洗剤を付けた平坦面1に足を載せ、足に湯をかけつつ、各立上面3に適宜足の側面を接触させながら足を前後に動かすと、足の裏や側面に付着した垢や汚れは毛6との摩擦により擦り落とされ、洗剤及び湯と共に貫通孔4を介して基体1の下方に流される。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 床に載置される基体1の上面に、並列する一対の平坦面2と、各平坦面2の両側から立ち上がる立上面3とを形成し、前記各平坦面2及び立上面3に弾力性を有する多数の毛6を植設すると共に、前記基体1に、上下方向に貫通する多数の貫通孔4を設けた足洗いマット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、主として入浴時に足の垢や汚れを擦り落とす足洗いマットに関するものである。

【0002】

【従来の技術】一般に、足の裏・くるぶし等に付着した垢や汚れを擦り落とすには、軽石や垢擦り布を使用する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、軽石や垢擦り布によると、腕に力を入れて擦らなければならず、また、足の側面を擦る際には、無理な姿勢を強いられるため、疲労が激しいという問題があった。

【0004】そこで、この発明は、足の裏や側面を楽に洗える足洗いマットを提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するため、この発明は、床に載置される基体の上面に、並列する一対の平坦面と、各平坦面の両側から立ち上がる立上面とを形成し、前記各平坦面及び立上面に弾力性を有する多数の毛を植設すると共に、前記基体に、上下方向に貫通する多数の貫通孔を設けたのである。

【0006】足を洗う際、泡状の洗剤を付けた平坦面に足を載せ、足に湯をかけつつ、各立上面に適宜足の側面を接触させながら足を前後に動かすと、足の裏や側面に付着した垢や汚れは毛との摩擦により擦り落とされ、洗剤及び湯と共に貫通孔を介して基体の下方に流される。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図1乃至図3に基づいて説明する。

【0008】図示のように、床に載置される基体1の上

2

面には、並列する一対の平坦面2と、各平坦面2の両側から立ち上がる立上面3とが形成されている。

【0009】各平坦面2及び立上面3が位置する部分において、基体1は、上下方向に貫通する多数の貫通孔4を有する格子部5となっている。格子部5の表面には弾力性を有する多数の毛6が植設されている。

【0010】基体1の両側には側板7が設けられており、両側板7と格子部5の裏面に設けられた複数の脚8とで基体1は支持されている。

【0011】上記のような足洗いマットにより足を洗うには、予め泡状の洗剤を平坦面2に付着させ、両足をそれぞれ平坦面2に載せて、足に湯をかけつつ、各足を前後に動かす。洗剤で浮き上がった垢や汚れが毛6と足との摩擦により擦り落とされ、洗剤及び湯と共に貫通孔4を介して基体1の下方に流される。この際、立上面3に足の側面を接触させると、その面を洗うことができる。

【0012】また、使用後には、水滴が貫通孔4から落下するので、水切れがよく、乾燥が早い。

【0013】

【発明の効果】この発明によると、以上のように、泡状の洗剤を付けた平坦面に足を載せ、足に湯をかけつつ、各立上面に適宜足の側面を接触させながら足を前後に動かすだけで、足の裏や側面に付着した垢や汚れは毛との摩擦により擦り落とされ、洗剤及び湯と共に貫通孔を介して基体の下方に流されるので、足の裏や側面を楽に洗うことができる。

【0014】また、使用後には水滴が貫通孔から落下し、水切れがよく、早く乾燥する。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施形態を示す斜視図

【図2】図1のII-II線に沿った断面図

【図3】同上の一部拡大平面図

【符号の説明】

1 基体

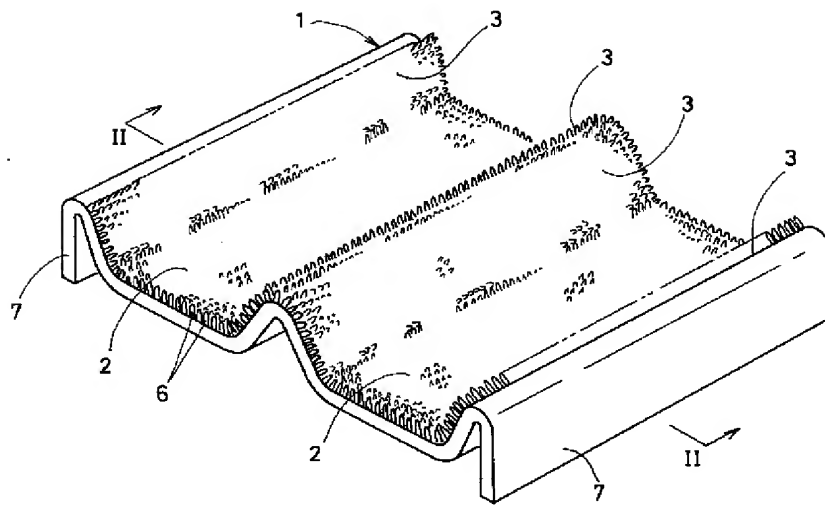
2 平坦面

3 立上面

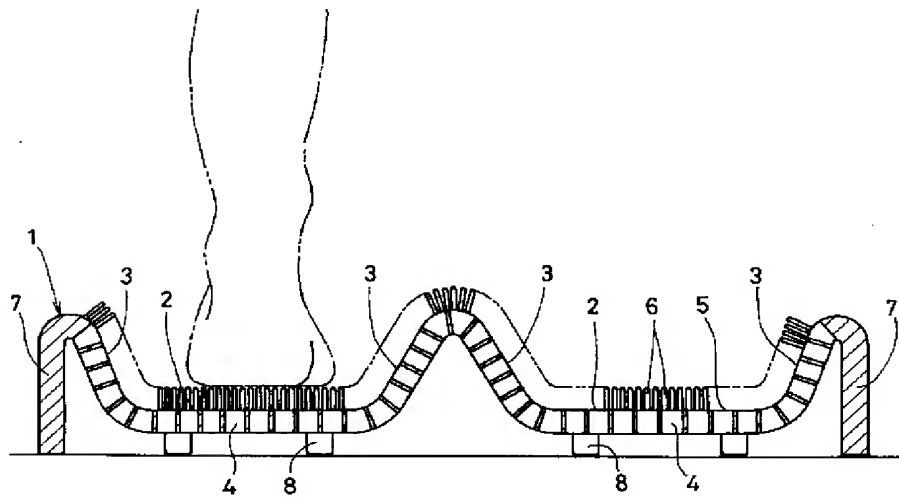
4 貫通孔

6 毛

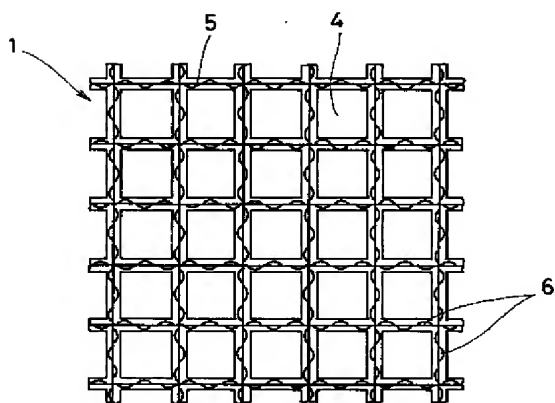
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP409140616A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09140616 A
TITLE: FOOT WASHING MAT
PUBN-DATE: June 3, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NISHIMURA, TATSUO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KK SANPACK	N/A

APPL-NO: JP07304015
APPL-DATE: November 22, 1995

INT-CL (IPC): A47K007/02 , D05C017/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a foot washing mat by which the sole or the side of a foot is easily washed.

SOLUTION: On the upper face of a base body 1 placed on a floor, a pair of parallel flat parts 2 is formed, as is an upright part 3 which stands on both sides of each flat part 2. A large number of elastic bristles 6 are planted on each of the flat parts 2 and the upright parts 3, while a great

number of through-holes 4 are provided by penetrating the base body 1 vertically. In order to wash feet, they are placed on the flat parts 1 soaked with a foamy detergent, and moved back and forth with warm water pouring while suitably brought into contact with upright parts 3 at the side; as a result, dirt and stains stuck to the sole or the side of a foot are rubbed off through the friction with the bristles 6 and flowed down to the lower part of the base body 1 through the through-holes 4 together with the detergent and warm water.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO